

日本鉄鋼協会記事

理事会

第2回理事会 開催日：4月27日。出席者：八木会長，ほか41名。

1. 澤村前会長御遺族寄付金による事業について
3月31日総会席上御遺族より1000万円の寄付金を受領した。澤村賞の設置につき、編集委員会で検討することになった。
2. 鉄鋼技術情報センター検討委員会設置の件
同センターが発足後10年が経過し、今後どうあるべきかを検討する委員会を企画委員会に設置することも決定した。
3. 非磁性鋼研究調査小委員会設置の件
標記小委員会を研究委員会の下に設置することを決定した。

企画委員会

第1回企画委員会 開催日：4月25日。出席者：竹内委員長，ほか23名。

1. 企画委員会の運営方針について
従来と同様の運営方針で臨む予定である。
2. 学生見学会報告
3月23～25日に開催され、参加人数は270名であった。アンケートのとりまとめを行つた後、次回最終報告を行う予定である。

編集委員会

第3回和文会誌分科会 開催日：5月12日。出席者：鈴木委員長，ほか22名。

1. 21件の論文審査報告がなされ、掲載決定16件、照会后掲載可3件、その他2件であった。
2. 「鉄と鋼」第74年第9号(9月号)に論文10件、技術報告7件、寄書2件掲載決定した。

第3回欧文会誌分科会 開催日：5月13日。出席者：鈴木委員長，ほか13名。

1. 13件の原稿につき審査報告がなされ、掲載可1件、修正依頼11件、返却1件であった。
2. Trans. ISIJ, Vol. 28, No. 8に、11件の論文及び特別講演と4件のNew Technologyを掲載決定した。

共同研究会

第38回設備技術部会

鉄鋼設備分科会 開催日：5月19～20日。開催地：新日鉄・君津。出席者：久保部会長，ほか140名。

1. 共通議題
テーマ名「連鑄の自動化設備」
(1) アンケートのまとめ報告
(2) 事例発表 10件
2. 自由議題 10件
3. 工場見学

新日本製鉄(株)君津製鉄所・製鋼工場

新刊案内

「鉄鋼業におけるセンサ技術」

研究委員会 センサ技術調査研究小委員会編 日本鉄鋼協会発行

A4版 394頁 定価 会員 2,500円，非会員 3,500円 (いずれも送料別)

我が国鉄鋼業の進歩に計測技術(センサ技術)が貢献するところが極めて大きい。鉄鋼業がこれまでに実施してきた製鉄設備の近代化、合理化はセンサ技術に支えられてきたと言っても過言ではなからう。日本鉄鋼協会は、研究委員会の活動の一つとして、昭和60年7月センサ技術調査研究小委員会を設置し、鉄鋼業で実用可能と考えられる物理センサと化学センサ全てに関する調査研究を行ない、昭和62年に研究を完了した。

本報告書はこの2年間の調査研究活動を取りまとめたもので、つぎのような特徴を有している。

- ① 主な製鉄プロセス別の鉄鋼技術者のセンサニーズを網羅し、プロセスとニーズの係わりを明らかにした。
- ② センサニーズを計測要素別に整理した。
- ③ 計測要素別にセンサニーズを網羅したセンサの開発の現状を知ることができるようにした。
- ④ 今後開発を要する主要ニーズについて適切なニーズとの対応が可能ないようにまとめた。

本報告書は鉄鋼業に携わる技術者には座右の書となり、かつセンサに関する技術者、研究者には研究・開発の一助になるものと確信されるもので、是非御利用下さいませよう御案内致します。発行部数も限られていますのでお早目にお申込み下さい。

★申込方法 次のいずれかの方法でご送金願います。

- ・現金書留
- ・郵便振替(東京7-193番)
- ・銀行振込み(第一勧銀・東京中央支店(普)No.1167361)

★問合せ先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4

経団連会館3階 日本鉄鋼協会 庶務課 水野
Tel. 03-279-6021